

核兵器をなくそう！ 被爆者を支援しよう！

核兵器廃絶

ネットワークみやぎ

核廃絶ネット通信

第5号

2022年

3月1日発行

1周年記念イベント 90名の参加で成功



1月22日、福祉プラザで「核兵器禁止条約発効1周年 核兵器廃絶ネットワークみやぎ発足1周年 記念イベント」を開催しました。

オープニングは、毎年原爆死没者追悼平和祈念式典でも歌っていただいている、合奏団ふきのとうによる「銘文」。宮城県原爆被害者の会が仙台市錦町公園に建てた「いのり像」の銘文を合唱曲にしたものです。心に響く歌声でした。

開会のあいさつで、核廃絶ネットの木村緋紗子代表がいまだに禁止条約への参加を否定している日本政府に対しての怒りを述べ、これからも運動を続けていくと表明されました。



記念講演は、女優の斉藤とも子さんに「私の平和への想い」というテーマでお話していただきました。井上ひさしさんの戯曲「父と暮らせば」に出演されることをきっかけに広島を訪れて被爆者と出会い、その明るさと力強い生きざまに大きな感銘を受けたそうです。その後、原爆小頭症の子どもたちをもつ親の会「きのこ会」の活動を支援しながら、核兵器廃絶運動にかかわってこられました。被爆者の方から教えられた「灯々無尽」という言葉を胸に、「次々と語りつないでいけば被爆者の方の想いはいつか核兵器廃絶につながる、語り継ぐことが自分にできること」と確信をもって歩んでこられたというお話に、会場の参加者は大変励まされました。

続いて、斉藤さんに被爆者の瀬野としさんの4編の詩を朗読していただきました。朗読に合わせて、塚野純一さんのチェロと小川有紀子さんのバイオリンで演奏をしていただきました。素敵なコラボレーションに会場は魅了されました。

後半は、チェロとバイオリンの演奏です。バッハの曲を中心にソロ演奏をしていただきました。塚野さんは、毎年原爆死没者追悼平和祈念式典でも演奏していただいています。また、今回初めて出演していただいたハナミズ



キ音楽事務所の小川さんは、広島の被爆木材で作られたバイオリンを使って演奏してくださいました。最後はお二人で2重奏。アンコールの「情熱大陸」は圧巻でした。

閉会のあいさつは、事務局の佐々木ゆきえさんで、署名への協力と会への賛同を訴えて終了しました。90名の参加でした。会場カンパは40,870円でした。ありがとうございました!

【感想から】

- 斉藤とも子さんの、被爆者との方々との心の交流のお話、とても胸が熱くなりました。被爆の方と同じように他の方の心を動かすことはできないかもしれませんが、一生懸命お話することで少しでも未来につながればいいと思います。
- 斉藤さんのお話は、とても心に残りました。自分の言葉でやさしくたくましく、しなやかな語りに素敵だな〜と（人生・生きたかにも）。心沈むこの頃でしたが、300年後まで見据えて今できること、あきらめずに進めばいいのですね。
- 豊かな感性で、人生を変える程の感動いっぱいのお話をありがとうございます。核の恐ろしさ、日常の平和の尊さ、つないでいきたいです。改めて条約に批准する政府へと、心からそう思いました。
- 核兵器禁止条約の発効1周年なので、ぜひ参加したいと思って参りました。今日の記念行事、素晴らしかったです。今日ここに至るまでの、人類の努力を振り返り、これからこの条約が核兵器保有国に保有を断念させるまでの道のりを思い、団結と勇気と希望に満ちた集まりだったと思います。
- 被爆バイオリンを託されている小川氏の思い、音楽で核廃絶を訴える活動、素晴らしいです。



呼びかけ人ポスター完成～3万筆目指そう

記念イベントの直前に、「宮城の呼びかけ人ポスター」が完成しました。37名の呼びかけ人にご協力をいただきました。ありがとうございました。ご覧になった方から、「いいポスターができましたね」「そうそうたるメンバーですね」とほめていただきました。呼びかけ人の中には、さっそく署名をお寄せくださった方もいらっしゃいます。これまで声掛けしていなかった分野の方々にも署名が広がっていくことを大いに期待しているところです。来年1月22日まで3万筆を目指して頑張っていきましょう。

市民にはまだまだ、核兵器禁止条約に日本が参加していないことを知らない方がいます。ぜひいろいろな場所に掲示したり、署名行動に活用したりして、署名を大いに広げていただければと思います。1枚200円で販売しています。ほしい方は、下記にご連絡ください。

事務局・川名080-2836-8208